



GNSS設定(RTK編)





- GNSS設置画面より補正情報の 種類を選択する。
- 単独測位、SBAS、RTK、VRS、 RTXから補正情報を選択。



GNSS設定(RTK編)





- ・編集をタップし詳細設定を行う。
- ・初期設定ではSBASが 選択されている。



GNSS設定(RTK編) 「補正」





- 「補正情報元」を選択し、 使用する補正情報を設定。
- 単独測位、SBAS、RTK、VRS、 RTXから補正情報を選択。



GNSS設定(RTK編) 「補正」



- 「補正情報元」を選択
- ・「無線機」を選択
  - →外部無線機を選択する。
- 「XFILL」を有効化(RTK、VRSの場合)
  - →RTK、VRSの補正信号が中断された場合に 衛星を介して、バックアップ補正信号を 配信。約20分間継続作業が可能。
- 「位置精度の品質」選択
  - ●精度優先→精度品質が確保されたのち、 Fixをする。
  - ●作業優先→精度品質が確保されている間に Fixを優先。
  - ●バランス→精度優先と作業優先の間。

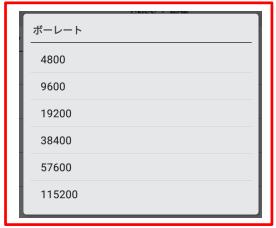
基本的に「精度優先」を選択。



GNSS設定(RTK編)「セットアップ」



「ボーレート」を設定使用している無線機・Ntripアプリと数値を 合わせる。



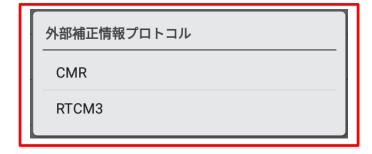
- 「データパリティー」はなしを選択する。
- 「ストップビット数」は1を選択する。



GNSS設定(RTK編)「セットアップ」



「外部補正情報プロトコル」を設定使用している無線機・Ntripアプリと数値を 合わせる。



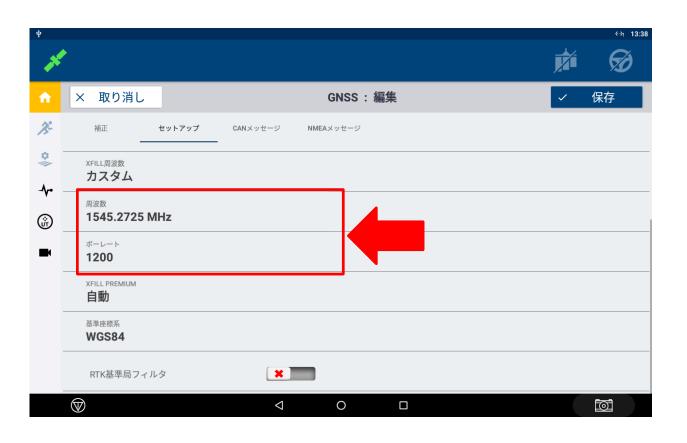
「XFILL 周波数」はカスタムを選択する。





※2021年9月30日に周波数が変更されました。 下記は現在使用できる最新の周波数です。

GNSS設定(RTK編)「セットアップ」



・「周波数」は1545.2725 MHzと入力

周波数		
1525.0000と1559.0000 MHzの間の値を入力してください		
MHz		
1545.2725		
X	<b>Ø</b>	

・「ボーレート」は1200を選択

ボーレート	
600	
1200	
2400	

・入力が完了したら



をタップ



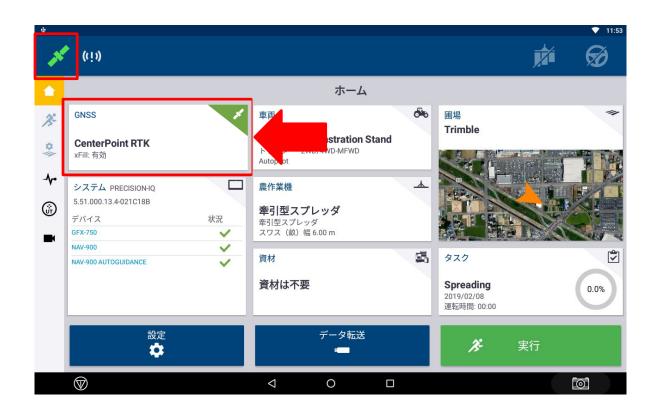
GNSS設定(RTK編)「セットアップ」



- ・「基準座標系」は<u>WGS84</u> →世界的な基準座標系
- ・入力が完了したら / 保存 をタップ。



GNSS設定(RTK編)





「単独測位」から設定した「CenterPoint RTK」 に変更され衛星マークが<u>緑</u>に変われば完了。









- GNSS設定(RTK編)
  - ・衛星マークについて



・衛星が補足できていない状態。



・衛星は補足できているが数が少ない状態。また、補正情報が未受信の状態。



・衛星数を多く補足できている状態。かつ、補正情報も正確に受信出来ている状態。





- GNSS設定(RTK編)
  - XFILLについて
    - 1~5分→1cm~5cmの水平誤差
    - 6~10分→5cm~9cmの水平誤差
    - 11~20分→10cm~15cmの水平誤差
      - ※XFILLを利用していても補正情報が途切れた場合は、 モバイル及び無線機を確認。 ガイダンスとモバイル及び無線機の接続が切れている可能性がある。

